

## 秋以降に向けて

# 共通テスト編

## 英語 Reading

### ✓Points

- 共通テストレベルの英文はスラスラと読めるようにしましょう。
- どの部分が問われているのかを知るために、はじめに問題文に目を通しましょう。
- 時間配分を決めておきましょう。

### ★対策

英語リーディングは時間との戦いです。共通テストは他の試験の問題形式とは異なるため、得点を安定させるには過去問、模試などの演習を通して問題形式に慣れることが大切です。また、市販の教材などを使って英文構造についての理解を深めることも時間短縮につながります。それぞれの長問に割く時間や解く順番など、自分に合った解法を早めに確立すると良いです。

## 英語 Listening

### ✓Points

- 毎日英語を聴いて耳を慣らしましょう。
- 問題文や選択肢を先読みしておくとは非常に楽になります。
- わからなかった問題は飛ばし、引きずらないようにしましょう。

### ★対策

共通テストのリスニングは、二次試験のものとは比べて簡潔かつ単純であり、またアメリカ英語に限らないさまざまな英語が使われます。共通テストは出題形式が特徴的であり、過去問や予想問題集、模試などを活用できると良いでしょう。高得点を取るためには問題文の先読みをすることが大切なので、模試の段階から先読みの技術を身につけておくことをおすすめします。

## 国語

### ✓Points

- 論説文では具体例や引用を取り除いて見えてくる本文の趣旨を理解し、小説では心情の変化に注目して場面を捉えましょう。
- 古文では敬語の用法から確実に主語を捉えましょう。

### ★対策

共通テストに移行してから、特に現代文の設問が複雑化し答えづらくなっているように思われます。センター試験の国語は設問がややこしくなく根拠がしっかりしている問題ばかりであるため、国語の対策法として良いトレーニングになります。古文・漢文についても頻出単語や句形を多く習得し、原文を現代語訳を介さずに理解して読めるように音読するのが効果的です。

秋以降、二次試験の過去問対策を開始していくにつれて、ついつい意識から離れてしまう共通テスト対策。共通テストを制する者は二次試験をも制す!? 秋のうちから進めておきたい共通テストの攻略法を、特に重要なポイントとともに一挙公開！早め早めの対策を行い、他の受験生に差をつけろ！

## 世界史

### ✓Points

- 正確な知識の定着が大前提かつ最優先です。
- 知識問題の中に会話文、史料読解問題が混在しているため、解いている問題がそのどちらなのかを正確に把握しましょう。

### ★対策

授業内容の見直しをその週のうちにやり、間違えたところや覚えられないところはノートにまとめましょう。この過程で用語集だけでなく資料集も必ず確認する癖をつけると良いです。長期休暇の間は習った範囲を問題集で復習するほか、共通テストやセンター試験の過去問を使って知識の確認を行いましょう。その際、誤文を正文に訂正しながら解くとより効果的です。

## 日本史

### ✓Points

- 細かい知識の暗記だけではなく、時代背景や事象のつながりを理解しましょう。
- 史料読解問題は過去問を繰り返し解くことで、内容や解き方を理解しましょう。

### ★対策

共通テスト日本史では短答や整序、史料読解などが出題されます。短答や整序は知識で解ける問題も多いため、教科書の重要語句やその周辺知識を問題を通して確認すると良いでしょう。史料問題は初見の内容が多いですが、該当する時代の背景など他の問題で必要な知識があると理解しやすいです。史料は古文が多く読解ミスが起こりやすいので気をつけましょう。

## 地理

### ✓Points

- 気候、地形など基礎知識は確実にインプットしましょう。
- インプットをしたら過去問を解いて地理的思考力を身につけましょう。
- 全体のうちに占める重要度を考えて勉強量をうまく調整しましょう。

### ★対策

共通テスト地理は配点が低い学部もあるため、あまり時間をかけずに効率よく対策を進めることが大切です。具体的には、市販の共通テスト地理を概括した参考書を1つ決めて登下校中やスキマ時間に読みこみ、基本的な知識を身につけたうえでひたすら過去問を解きました。地理は思考力が問われる問題も多いので、いかに問題に慣れるかが重要です。

# 数学 I A

## ✓Points

- 数学 I Aは満点勝負も狙うことができる科目です。
- マークミスが起こりやすいので確認しながら解きましょう。
- 時間不足でパニックになることを一番避けたいです。

## ★対策

共通テストの数学は基礎を固めたうえでの演習量が物を言うので、直前期の演習が重要です。専用の問題集で時間を計って演習するのがおすすめです。本番ではマークのチェックをしながら解く必要があるので、演習では10分程度余裕を持たせるのがベストです。また、共通テスト模試の数学 I の問題は解いていないはずなので、それを解くのも有効です。

# 数学 IIB

## ✓Points

- 数学のような二次でも使う科目の対策は演習をメインにして、時間をかけすぎないようにしましょう。
- 大問ごとに問題を解き終わったらマークミスをしていないか必ず確認しましょう。

## ★対策

まずは二次でも通用するように基礎を固めましょう。二次に向けた学習は共通テストの対策につながります。直前期になったら時間を計って演習をしましょう。もし演習をして苦手な分野が見つかったらその分野を急いで固めましょう。共通テスト対策に限らず、演習をして苦手な分野を見つけたら、その分野を得意にするぐらいの気概で問題と向き合うことが大切です。

# 倫理、政治・経済

## ✓Points

- 単なる暗記ではなく、事項の背景や流れを意識しながら覚えましょう。
- 学校の定期試験を有効活用しましょう。直前に詰め込まないことが大切です。

## ★対策

倫理、政治・経済は高3でのみ授業が行われる学校も多いと思います。日本史や世界史ほどではないものの、1年で仕上げることを考えると求められる知識量は多いです。時間があるうちにYouTubeで倫理の解説動画を見たり、政治や経済に関するニュースで気になった言葉について調べたりするなど、少しでも倫理、政治・経済の分野に触れておくと良いでしょう。

# 物理基礎

## ✓Points

- 知識問題が多いため、より多くの問題に触れて知見を広げましょう。
- 試験時間は他の理科基礎科目と合わせて60分なので、時間配分には常に気を配っておきましょう。

## ★対策

物理基礎には個別の事象について前提知識が必要とされる問題と計算力・考察力が要求される問題があります。前者はより多くの問題に触れていくことで、後者は問題演習の際に各事象についての解説をよく読み、思考パターンを自分の中で噛み砕いて理解していくことで対応できるようになります。

# 化学基礎

## ✓Points

- 基本的な知識を短期間で詰めこみましょう。
- ある程度インプットしたらすぐに演習に取り組みましょう。
- とにかく量をこなしましょう。

## ★対策

共通テストになってから読解要素が強くなり、時間がかかるうえに思考力も大事になってきました。しかし、基本的には定式化された問題を解くことが重要であることに変わりありません。ゆえに市販の共通テスト対策用の参考書がある程度インプットしたら、演習を重ねる必要があります。

# 生物基礎

## ✓Points

- 実験問題の攻略が鍵です。
- アウトプットを忘れずやることも重要です。
- ノートを作って暗記の補助にしましょう。

## ★対策

共通テストの生物基礎は実験に関する問題が多いので、夏休みまでに教科書を用いて基本事項を一通りインプットするのが理想です。秋以降は、過去問や対策問題集を解いたり、過去の模試の解き直しをしたりするのがおすすめです。その際、重要なポイントなどを1つのノートにまとめると良いと思います。

# 地学基礎

## ✓Points

- 20～25分で解き、9割以上の得点を目指したいです。
- 問題の傾向としては、ほぼ全ての単元からまんべんなく、知識問題と思考・計算問題の両方が出題されます。

## ★対策

安定して8割以上の得点を取るためには、半年以上かけて教科書の知識を覚えていくのが良いです。思考・計算問題の練習に1か月は欲しいので、遅くとも12月中旬から問題演習に着手できるようにしましょう。思考・計算問題は問題ごとに解法が違うので、解法を速やかに思いつく練習をする意識が重要です。